

【成果報告書①：海洋教育のデザイン】

1. 学校名：宿毛市立大島小学校
2. 活動名：海を守ろう～自分たちにできることを考えよう～
3. 実践の概要・ねらい

海洋教育の4つのキーワードをもとに、宿毛湾の咸陽島に行き、縦割り班で海遊びや海の生物の観察や海の清掃活動をすることで、「海に親しむ」活動をする。

次に、「海を知る」活動としては、宿毛の海の安全を守るために活躍している宿毛海上保安署を訪問し、施設見学や職員からの話を聞くことにより、宿毛海上保安署の仕事内容や仕事をする上での苦勞を知る。その上で、施設見学や聞き取った話をもとにしながら、自分の将来や就きたい仕事などについて考えることにより、その実現に向けて努力しようという意欲を高める。

次に、「海を利用する」活動としては、幡多青少年の家での宿泊学習で、海洋生物を調べたりシーカヤック体験をする。更に、デイキャンプでは海に繋がる四万十川に行き、水辺の生物観やカヌー体験をする。次に、「海を守る」活動としては、足摺海洋館の出前授業を通して専門的な海洋生物の話を聞くことで、知識を広げる。

最後にまとめとして、海洋保全や自然保全の大切さ知ること、自分たちにできることは何かを考えたい。これまでに聞き取ったことや調べたことをまとめ、発表することで、知識・技能・思考力・判断力・表現力を有する児童を育成する。

4. 実践計画

①2017年5月 咸陽島での縦割り班活動・・・5年生（総合的な学習な時間）

テーマ：海をきれいにしよう

活動計画：海の探検・清掃活動

6月 海上保安署の見学・・・5年生(総合的な学習な時間)

テーマ：海を知り、海上保安署の仕事から学ぼう

活動計画：海の学習・海上保安庁の仕事・巡視船「あらせ」の見学

7月 宿泊学習・・・5年生(総合的な学習な時間・理科)

テーマ：海の体験活動を通して海を好きになろう

活動計画：海洋生物調べ・シーカヤック体験

8月 デイキャンプ・・・全学年と保護者(学校行事)

テーマ：親子で楽しい水辺の生物観察をしよう

活動計画：水辺の生物観察・カヌー体験

11月 足摺海洋館の出前授業・・・3年生（総合的な学習な時間）

テーマ：魚のことを知ろう

活動計画：移動水族館・魚の学習・タッチプール

2月 学習発表会

②実践の評価について：児童や保護者の感想より評価

【評価】

- 海辺には美味しいものがいっぱい ○みんな大好き磯遊び ○宝石サンゴがとれる海
- 宿毛湾の海で起こっている困ったこと ○宿毛湾の海はとにかくすごい、おもしろい
- 海の豊かさ、美しい海を守りたいと願っている人達がいる ○海と仲良くなろう、もっと海で遊ぼう

【感想】

- ・ぼくは、さかなのいのちがわかってよかったです。うみに、つぎからはいろいろなものをすてません。
- ・ぼくは、すごくさかなのことがすきになりました。
- ・わたしは、うみをまもるために、ごみをすてません。(1年生)
- ・海の自然がとてもゆたかに感じました。そして、海をきれいにしようと思いました。
- ・ぼくは、つりに行くから魚やいろいろなヒトデが知れてよかったです。海でつりをする時、毒があるものがあつたらいけないから、お話を聞けてよかったです。(2年生)

- ・魚たちは海草がなかったら、他の場所へ移動して海草やサンゴがなくなったら、他の場所に移動して魚が減っていくことが分かりました。サンゴが少なくなっているから、人間がオニヒトデを取っているけど、サンゴが増え過ぎてもいけないから、オニヒトデもちょっとは残すことや海草が増え過ぎてもいけないから、ウニを残すという工夫がされていることが分かりました。(3年生)

- ・海はきれいだったのに、ゴミを捨てたりしたせいで汚くなってきているから、これからは自分たちも気をつけようと思いました。後、海にゴミを捨てると魚の命がなくなるので、ゴミは絶対に捨てたらいけないと思いました。(4年生)

- ・宿毛湾には、千種類の生き物たちがいることが分かりました。宝石サンゴは、知っていたけど身近にあることが分かりました。そして、一千万の値段がつくことも分かり高いなあと思いました。木が雨で倒れて、そのくずれた泥などが海をよごすことが分かりました。(5年生)

- ・海のゴミの状態も初めて知って、自分から気をつけようと思いました。私は、釣りが好きなので魚が減ったり、赤潮(プランクトン)のせいで死んでしまったりしているので、森林もきちんと手入れができるようにしたいです。(6年生)

- ・海の学習を通し、自然環境と人間との係わりや繋がりを子ども達にも分かり易く話してくれ、テーマに迫る講演会になったように思う。
- ・宿毛の海が、どれだけすばらしいか、子ども達にも分かり易く話してくれていました。子ども達にもこの海を大切にしていかなければいけないという思いが持てた講演だったと思います。(教職員)
- ・自分達が住んでいる宿毛の海がこんなにも豊かだとは知りませんでした。この海を今の子ども達が大人になった時にも残せるよう、海を汚さない為にはどうしたらいいか考えようと思います。
- ・宿毛、大月地域は、魚や貝類が豊富だと思いました。私達にとって小さい頃から慣れ親しんでいることでも、恵まれた環境で生活しているのですね。そして、海や生物を守る為に色々な工夫があることを知りました。自分達も小さなことでもやっていかなければいけません。

・海の事をたくさん知れて良かったです。サンゴの話やゴミの問題、海の生き物の話を子どもと親と一緒に勉強できたので、家に帰って親子で話し合いたいと思います。色々な活動が宿毛の海を守ってくれているんだと考えさせられました。自分達も出来ることから、海を守る活動をしていきたいと思います。

(保護者)

5. 今年度の実践

①計画からの追加・変更点

計画通り実施することができたので、追加・変更点はありません。

②実践の成果

- 年度当初から、図鑑や副読本を揃えたことや関連機関との有機的な連携によって、海洋に関する教育を充実することができ、児童に海の生き物に興味関心が高まり、海洋教育に対しての学習意欲も高まってきた。
- 参観日の講演会に、黒潮生物研究所の中地シュウさんに事業の活動名と同じテーマで話していただき児童はもちろん、保護者や地域の方も参加してくれたことが『海を守ろう』という意識が高まってきた。
- 体験的な海洋教育をすることで、海洋の魅力を実感することができ、海洋に係わる夢を抱き、キャリア教育の学習効果が高まってきた。

③次年度への課題

海洋教育を継続させるためにも、教職員の研修をすることが大切なのに十分な時間を取ることができなかった。担当教員に海洋教育に対しての十分な知識と技能が備わってなかった。

6. 主な連携機関及び内容

・ 5年

- 生が校区にある、海上保安署で海の学習をした後、海上保安署の仕事を教えてもらい巡視船「あらせ」の見学や救助法等を学ぶことができた。
- ・ 5年生が幡多青少年の家に1泊2日の宿泊学習に行き、磯辺で磯ビンゴや海洋生物の観察やシーカヤックを楽しんだ。
- ・ 全校児童と保護者を対象とした、デイキャンプを四万十楽舎で実施しカヌー体験や水辺の生物観察をした。
- ・ 足摺海洋館の職員による海洋教育の出前授業を実施し、校内に移動水族館を1週間設置することで、魚の観察をした。
- ・ 年間10回の釣りクラブの時間に、地域の方に餌の付け方や釣りの仕方を指導してもらうことができた。
- ・ 黒潮生物研究所の中地シュウさんを講師として、講演会を実施した。



(ライフジャケットを着て海遊び)



(カサゴの放流)



(毎月1回の釣りクラブの時間)



(磯ビンゴで海洋生物を捕獲中)



(宿泊学習でシーカヤック)



(咸陽島で縦割り班の生物観察)

【成果○と課題●】

- 年度当初から、図鑑や副読本を揃えたことや関連機関との有機的な連携によって、海洋に関する教育を充実することができ、児童に海の生き物に興味関心が高まり、海洋教育に対しての学習意欲も高まってきた。
- 参観日の講演会に、黒潮生物研究所の中地シュウさんに事業の活動名と同じテーマで話していただき児童はもちろん、保護者や地域の方も参加してくれたことが『海を守ろう』という意識が高まってきた。
- 体験的な海洋教育をすることで、海洋の魅力を実感することができ、海洋に係わる夢を抱き、キャリア教育の学習効果が高まってきた。
- 海洋教育を継続させるためにも、教職員の研修をすることが大切なのに十分な時間を取ることができなかった。担当教員に海洋教育に対しての十分な知識と技能が備わってなかった。

5年生「海を守ろう～自分たちにできることを考えよう～」

【実践のねらい】

海の学習や体験を通して、海洋に関する教育を充実させることによって、海への関心を高め「海を守る」ために自分たちにできることは何かを考えさせたい。将来的には、故郷の自然環境を誇りに思い、海洋保全ができる人材を育成したい。

○時数：5月～2月 ○関連：総合的な学習の時間・理科 ○目標：講話や体験活動を通して、海の生物や環境について知り海を守るためにできることを考える。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体験 的 な 活 動 ・ 探 究 的 な 活 動 ・ 表 現 活 動		①咸陽島での縦割班活動 ・海の探検 ・清掃活動	②海上保安署の見学 ・海上保安署の仕事 ・海の学習 ・巡視船「あらせ」の見学					⑤足摺海洋館の出前授業 ・海の生物学習 ・タッチプール ・移動水族館				
		③宿泊学習 ・海洋生物調べ ・シーカヤック体験		④デイキャンプ ・水辺の生物観察 ・カヌー体験				⑥講演 『海を守ろう』 黒潮生物研究所：中地シュウさん			⑦学習発表 ・調べ学習 ・まとめ	